

2021 年 11 月 26 日

バンク・オブ・アメリカ、ESG 推進の一環として被災芸術作品の修復を支援
川崎市市民ミュージアム所蔵の漫画原画約 400 点

バンク・オブ・アメリカは、2021 年の文化財保護プロジェクトとして、川崎市市民ミュージアム所蔵の漫画原画コレクションの修復支援を行うことを決定しました。

当社は、芸術・文化活動には地域社会を活性化し、経済の発展に貢献する力があると信じており、様々な芸術・文化支援プログラムを世界各拠点にて展開しています。その一環として、2010 年に「文化財保護プロジェクト」を立ち上げ、歴史的・文化的意義が大きく、かつ劣化の恐れのある芸術作品の保存や修復を対象に助成を行っています。以来、世界 36 か国の美術館・博物館に助成金を提供し、195 のプロジェクトを通じて 5,000 点以上の芸術作品の保存や修復を支援しており、この中には日本の国宝級の作品 8 点も含まれます。(下表参照)

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により甚大な被害を受け、収蔵庫の浸水により、収蔵品約 23 万点が被害に遭いました。収蔵品のレスキュー活動は被災直後から始まっており、現在も応急処置や修復などが続けられています。その中で、今回当社が修復の助成を行う作品は、日本漫画界を代表する作家の歴史的価値の高い作品原画 400 点余りとなります。

バンク・オブ・アメリカ在日代表で、BofA 証券株式会社 代表取締役社長の笹田珠生は、今回のプロジェクトについて次のように述べています。「当社は、責任ある成長を遂げるために ESG を重視しており、その一環として芸術や文化に対する様々な支援を行っています。今回、日本におけるはじめての試みとして、地球温暖化の影響が指摘される台風により被災した、コミュニティ・ミュージアムの芸術作品の修復をサポートさせていただく機会に恵まれました。地域社会への貢献、また環境問題を考える上で、ESG の観点から重要な取り組みだと考えています。」

当社の芸術・文化支援プログラムは、経済や社会にプラスの影響を与え、多様な文化や伝統に光を当てるよう設計されており、今後も ESG の取り組みの一環として積極的に取り組んでいきます。

日本における文化財保護プロジェクト(助成実績)

修復開始	修復完成	所蔵	作品
2018 年	2021 年	東京国立博物館	重要文化財 紫地唐草文印金九条袷裳
2016 年	2019 年	東京国立博物館	国宝 埴輪 桂甲の武人
2015 年	2017 年	東京藝術大学大学美術館	重要文化財 上村松園「序の舞」
2013 年	2015 年	東京国立博物館	国宝 渡辺華山「鷹見泉石像」を含む所縁のある芸術作品 3 件
2012 年	2014 年	東京国立博物館	国宝 狩野永徳「檜図屏風」
2012 年	2014 年	東京国立博物館	重要文化財 伝陳容「五龍図巻」

バンク・オブ・アメリカについて

バンク・オブ・アメリカは、環境、社会、ガバナンス(ESG)を重視し、「責任ある成長」戦略の元に全てのステークホルダーがよりよい経済生活を実現できるよう支援しています。当社は、ESG 原則に基づき、8 つのビジネス・ラインを通じて世界経済の活性化を支援し、ESG への取組みにより、働きたい企業、投資したい企業、ビジネスパートナーにしたい企業としての信用と信頼を構築しています。また、従業員の多様性を尊重して違いを受け入れる職場環境の構築、責任ある製品およびサービスの提供、そして、世界各地の地域経済の発展の支援に積極的に取り組んでいます。さらに、地域社会、消費者、環境団体などの非営利団体や支援団体と強力なパートナーシップを築き、当社のネットワークや専門性を活用し、より大きな影響をもたらします。

###

報道関係者お問い合わせ先:

バンク・オブ・アメリカ 広報部

長谷川 万里子

03-6225-7176

mariko.hasegawa@bofa.com